

Vol.16
梅の部屋
in osakura

雨

こんにちは。

暫く雨の降る日が続いていますね。先日は警報レベル5まで出るほどの大雨でしたが大丈夫でしたか？

私は初めてあれほどの雨を体験したこともあり、なかなか眠れない夜を過ごしました。あまりの怖さに、災害にあう夢まで見るほどでした。

朝倉ではあまり大きな被害はでなかったようですが、その他の地域では未だ雨が降り続き、大きな被害の出ているところもあるそうです。

これ以上、雨が降って被害が広がらないことを祈るばかりです。皆さまもどうぞ気をつけてお過ごしください。

防災学習ツアー②

前回に引き続き、今回も「防災学習ツアー」のお話をしようと思
います。

先生と高校生の方にお話して頂いた後は、一緒に旧松末小学校の見学に行きました。多くの方々の尽力もあり、土砂は無くなって
いましたが、壁には土砂が入ったとき
の跡が生々しく残っていました。ツア
ーに参加していた小学生がその前に
立つと、ちょうど頭の上のあたりに土
砂の跡がきていました。

災害時、体育館には児童と避難して
きていた地域住民の方々もいたそう



最近よく食べるせいで
太った気がします。
うめ

ですが、時間が経つにつれ水位が増し、体育館も危
険だと感じた先生方の判断で、最終的に3階の教室
に全員で避難したそうです。

全員が3階に避難する中、ある女性の先生が子ど
もたちの靴を全て集めて3階にあげていたそうで
す。

混乱した最中だったこともあり、誰が集めていた
のか周囲の人も集めた本人すらも覚えていないそう
ですが、結果としてその行動
のお陰で、災害の翌日に全員
で歩いて、他の避難所まで移
動することができたそうで
す。



旧松末小学校を後にして次に、東峰村にある東峰
村災害伝承館で当時の映像や写真を見せて頂きまし
た。講師の方が当時消防士をされていたこともあり、
救助の体験談についてなど、多くのお話を聞くこと
ができました。

現在はいつどこで災害が起こるか分かりません。
実際に先日の雨で多くの地域で被害が出ています。
今回のように少しでも災害について知ってもら
い、どうすれば自分の身や周りの大切な人たちを守
れるのかを学べるよう、今後も企画・実施してい
きます。

では、今回はここまで！
また次回！





受入れ家庭大募集

農村体験・農村民泊の受入れ家庭を募集します！

朝倉グリーンツーリズム協議会では、都会の子ども達や住民の方々に「朝倉での暮らしや人との触れ合い」を通して「あさくら」の魅力を伝え、地域の活性化に繋がるよう活動をしています。

現在は国内の小学校、中学校、高校の教育旅行や体験の受け入れを積極的に行っています。近年では「日本の生活や文化を学びたい」ということで海外の学生さんや個人でいらっしゃる方も増えており、国際交流の場にもなっています。

そんな活動をしている協議会ですが、現在の受入れ家庭軒数では対応しきれない場合もあり、朝倉に來たいと言ってくれる方々をお断りしているケースも多々あります。

そこで、朝倉グリーンツーリズム協議会では農業体験や農村民泊を受け入れていただける家庭を随時募集しています。

是非、受け入れを通して「あさくら」の魅力を一緒に発信していきませんか？



受け入れに関してよくある質問

Q. 農家じゃないけどいいの？

A. 農家でなくても問題ありません！普段と違う生活を送ることが立派な体験となります。家で農業体験ができない場合は、近隣の受入れ家庭との連携等を協議会で調整させて頂きますので、ご相談ください！

Q. 料理はどうすればいいの？

A. 特別な料理ではなく普段食べている料理を子ども達と一緒に作って食べてあげてください。食事も立派な体験活動の一つになります！アレルギーを持つ生徒がいる場合は、事前に事務局より連絡を行い対応します。

Q. ボランティアなの？

A. 受け入れて頂いた場合は、受入れ家庭に謝礼をお支払いします。

【例】中学生3名を受け入れた場合（一泊二日二食・半日農業体験付）

5,400×3人＝16,200円

※食材や寝具等は受入れ家庭でご準備ください。

Q. 一回に何人受け入れて何泊ぐらい受け入れるの？

A. 一軒の受け入れは3～5人位を予定しています。が、事前にご相談させて頂きます。教育旅行などの受け入れで多いのは一泊となっています。

問い合わせ先

農村体験・農村民泊に少しでも興味のお持ちの方は、是非ご連絡ください！

電話・0946・24・6758